

事務事業チェックシート

事務事業No 751 事業名 景観計画促進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	1	都市景観の形成
取組方針	2	景観まちづくりの推進

事業種別	継続		
事業期間	H24 ~		
事業実施の根拠法令	景観法、和歌山市景観条例		
関連個別計画	和歌山市景観計画		
担当課・担当課長・Tel	まちなみ景観課	田中 利幸	435-1048
関連課	都市再生課、環境政策課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		都市計画費	
	目		都市計画総務費	
	大事業		都市計画総務事業	
中事業		景観計画促進事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 地域の景観資源の発掘や景観重点地区等の指定に伴う活動支援等の実施など、景観計画に基づく良好な景観の形成に係る施策を展開し、自然景観や歴史的景観の保全・活用等、和歌山市らしい良好な景観の創出を図るとともに、地域の誇り、愛着の醸成及び景観という観点からのまちづくりを促すことを目的とする。		全体事業概要 ・景観法に基づく届出等に関する事務(景観誘導) ・和歌山市景観条例及び和歌山市景観計画の周知に関する事務(周知啓発) ・和歌山市景観審議会の運営 ・新たな景観拠点等創出に関する事務 ・景観まちづくりに関する事務 ・近畿地方都市美協議会に関する事務				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
・新たな景観拠点等創出に関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席		・新たな景観拠点等創出に関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブック作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席	・新たな景観拠点等創出に関する事務 ・景観まちづくりに関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブックの作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席 ・和歌山市景観計画の改定	・新たな景観拠点等創出に関する事務 ・景観まちづくりに関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブックの作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会の会長市として、研修会、総会等の運営	・新たな景観拠点等創出に関する事務 ・景観まちづくりに関する事務 ・景観法に基づく届出等に関する事務 ・景観審議会の開催 ・景観ガイドブックの作成 ・景観ホームページの運用等の周知啓発 ・近畿地方都市美協議会への出席		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,831	4,562	10,541	387	3,351	9,330	617		617	
伸び率(%)	-	-	80.8%	▲91.5%	▲68.2%	2310.9%	▲81.6%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	7,555	16,062	16,062	21,023	23,511	24,114	13,572		13,572
	正規職員以外		188	188	211	257	257	0		0
	小計	7,555	16,250	16,250	21,234	23,768	24,371	13,572		13,572
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	5,831	4,562	10,541	387	3,351	9,330	617		617	
所要人数(人)	正規職員	1.02	2.16	2.16	2.65	2.96	3.03	1.7		1.7
	正規職員以外		0.10	0.10	0.10	0.10	0.1	0		0
主な予算内訳	附属機関委員報酬336千円等									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 景観法に基づく届出件数	件	目標値					
		実績値	95	101	118		
	達成度(%)	目標値					
		実績値	1	2	2		
成果指標 「まちなみの美しさ」に対する市民満足度	%	目標値	18.4	19.2	24	25	26
		実績値	21.9	19.1	26.7		
	達成度(%)	目標値	119.0%	99.5%	111.3%		
		実績値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>平成23年度に「景観条例」の制定及び「和歌山市景観計画」の策定、届出制度の運用も開始し、約5年経過したところであり、景観に関する意識が徐々に浸透してきていると感じているところである。また、景観重点地区等の指定についても「和歌山城周辺景観重点地区」につづいて、平成24年度末に「和歌の浦景観重点地区」を指定し運用をしているところであるが、次に住民主導による新たな景観拠点等の創出や、景観団体・地区指定及び景観形成に資するまちづくりへの期待も膨らんできているところである。</p>
見直し・改善内容	<p>観光客の増加や社会情勢の変化などを踏まえ、人を呼び込む積極的な景観形成を目指し、平成29年度に改正した景観計画の積極的な運用を図る。また、住民団体等と連携し、新たな景観拠点の創出や、特徴的な景観・保全すべき優れた景観の保全、景観形成に資する住民団体等の活動を支援するため、新たに創設した「景観まちづくり推進団体」「景観まちづくり推進地区」制度を積極的に運用する。</p> <p>和歌の浦景観重点地区における届出対象行為を見直し、小規模工作物等の乱立に対する誘導を強化する。</p>